

船工 第419号
令和4年10月14日

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

造船業界向けに「半導体等調達難に対するご理解とご協力をお願い」を発売

コロナ禍からの急速な景気回復等を背景とする世界的な材料価格の高騰に関して、昨年、弊会から「船用工業製品の取引に対するご配慮のお願い」（船工第74号、令和3年5月14日付け）を発売したところですが、その後、ウクライナ情勢等も加わり、原材料・製品等の供給制約、工場火災等による国内外の部品生産量の減少などの種々な要因により、船用機器を構成する原材料・部品の調達難が続いており、特に半導体をはじめとする電子・電気関係部品等の入荷遅れの深刻度が増しています。

当会会員企業においては、船用機器の納期遅れにともなう船舶の引き渡しへの影響等が発生しないよう、鋭意努力を行ってきているものの厳しい状況が続いていることから、今般、一般社団法人日本造船工業会及び一般社団法人日本中小型造船工業会に対し、製品検査・納期等の調整、価格上昇等を踏まえたコスト低減策協議等の当会会員企業への配慮をお願いする別添の文書を発売したので、お知らせ致します。

【添付】

- ・「半導体等調達難に対するご理解とご協力をお願い」（一般社団法人日本造船工業会 会長 宮永 俊一 殿 宛）
- ・「半導体等調達難に対するご理解とご協力をお願い」（一般社団法人日本中小型造船工業会 会長 越智勝彦 殿 宛）

本件問合せ先：

一般社団法人日本船用工業会 業務部 中橋
東京都港区虎ノ門 1-13-3 虎ノ門東洋協同ビル 5F
TEL: 03 (3502) 2041
E-mail: nakahashi@jsmea.or.jp

以上

船工第419号
令和4年10月14日

一般社団法人日本造船工業会 会長 宮永 俊一 殿



一般社団法人日本船舶工業会
会長 木下 茂樹

半導体等調達難に対するご理解とご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当工業会及び会員企業各社に対しまして、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナ禍からの急速な景気回復等を背景とする世界的な材料価格の高騰に関して、昨年、弊会から「船用工業製品の取引に対するご配慮のお願い」（船工第74号、令和3年5月14日付け）を发出させていただいたところです。その後、ウクライナ情勢等も加わり、原材料・製品等の供給制約、工場火災等による国内外の部品生産量の減少などの種々な要因により、船用機器を構成する原材料・部品の調達難が続いており、特に半導体をはじめとする電子・電気関係部品等の入荷遅れの深刻度が増しています。

当会会員企業においては、船用機器の納期遅れに伴う船舶の引き渡しへの影響等が発生しないよう、鋭意努力を行ってきているものの厳しい状況が続いており、下記の通り、会員企業（当会サプライチェーン最適化検討委員会及び計測器部会の委員会社27社）から聴取した状況をご報告するとともに、造船業界における格段のご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

貴業界におかれましても、鋼材価格の上昇など、非常に厳しい環境に置かれていることは十分承知しており、当業界としても、貴業界における船価上昇やサプライチェーン最適化に向けた取り組みも含め、今後とも出来る限りの協力をさせて頂く所存です。

つきましては、昨年が続くお願いとなり誠に恐縮ではございますが、貴工業会及び会員各社におかれては、上記事情をご賢察の上、我が国造船・船用工業の両業界が共に持続的に発展していくため、今般の半導体等の調達難に関して、当工業会会員企業各社への何分のご配慮を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調達難の現状

・対象船用機器

○航海計器、通信機器、計測器、遠隔操縦装置、配電盤・分電盤、エンジン、ポンプ、発電機・電動機、冷凍・空調機、ボイラー、油水分離機、甲

板機械、消防機器等広範な製品

- ・対象部品等
 - CPU、半導体、プリント基盤、コネクタ、ハーネス、ケーブル、マグネット、スイッチ、プレーカー、PC、リレー、シーケンサー、インバーター、タッチパネル、電源装置、樹脂製品等の電子・電気関係の材料・部品
 - 鋼材、銅、アルミ等の金属材料・部品
- ・部品等の入荷時期
 - 通常1～2月程度で入荷していたが、現状、半年から2年程度に延長又は納期末定の状況
 - 半導体生産ラインの見直し等で、製造中止部品等が発生
- ・上記の調達難は当面改善の見込み無く、今後数年は継続する見込み。部品等の価格については、言い値での受け入れを余儀なくされる状況。海外調達部品等については、更に円安の影響が付加
- ・自動車等他産業等との部品調達面での競合において、規模的に船舶関係は不利な状況。世界的な造船受注量の急回復も調達難の背景要因
- ・現状では、造船所のご理解の下で調整を図り、船舶の引き渡し時期への影響は回避しつつも綱渡り状態が続いており、さらに深刻化している状況。一部には、造船所からの新規引き合いに対して製品納期の確約ができず、失注に至る事例も発生
- ・就航船の機器換装工事等については次期入渠時等に延期を依頼し、修理工事等へ部品を優先手配

2. 船用事業者で実施中の主な対応策と課題等

- ・通常取引先ではない取引先、インターネット、電気街等からの調達（価格が数倍から数十倍に上昇、品質面のばらつき）
- ・代替品への転換（状況により、新たな開発、設計変更、性能評価、船級認証等が必要）
- ・部品等の先行発注、長期在庫の確保（新たな先行調達資金、保管場所の確保等が必要）
- ・造船所等客先との納期調整、パッケージ受注品の分割納品の設定（客先のご理解が不可欠）
- ・納品後の部品取り付け（客先等の理解の下、社内部品で検査運転等を実施し、一旦部品を外して出荷後、公試等までに部品を確保・取り付け）

3. 造船業界へのお願い事項

- ・上記事情を踏まえ、製品検査・納期等に係る船用メーカーとの調整、弾力的な運用の確保
- ・部品等の調達難と関連経費を含む価格上昇等を踏まえたご配慮とコスト低減策協議へのご協力
- ・造船契約時における本件事情の反映と竣工時期へのご配慮

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

船工 第419号
令和4年10月14日

一般社団法人日本中小型造船工業会 会長 越智 勝彦 殿



一般社団法人日本船用工業会
会長 木下 茂樹

半導体等調達難に対するご理解とご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当工業会及び会員企業各社に対しまして、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナ禍からの急速な景気回復等を背景とする世界的な材料価格の高騰に関して、昨年、弊会から「船用工業製品の取引に対するご配慮のお願い」（船工第74号、令和3年5月14日付け）を发出させていただいたところです。その後、ウクライナ情勢等も加わり、原材料・製品等の供給制約、工場火災等による国内外の部品生産量の減少などの種々な要因により、船用機器を構成する原材料・部品の調達難が続いており、特に半導体をはじめとする電子・電気関係部品等の入荷遅れの深刻度が増しています。

当会会員企業においては、船用機器の納期遅れに伴う船舶の引き渡しへの影響等が発生しないよう、鋭意努力を行ってきているものの厳しい状況が続いており、下記の通り、会員企業（当会サプライチェーン最適化検討委員会及び計測器部会の委員会社27社）から聴取した状況をご報告するとともに、造船業界における格段のご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

貴業界におかれましても、鋼材価格の上昇など、非常に厳しい環境に置かれていることは十分承知しており、当業界としても、貴業界における船価上昇やサプライチェーン最適化に向けた取り組みも含め、今後とも出来る限りの協力をさせて頂く所存です。

つきましては、昨年に続くお願いとなり誠に恐縮ではございますが、貴工業会及び会員各社におかれては、上記事情をご賢察の上、我が国造船・船用工業の両業界が共に持続的に発展していくため、今般の半導体等の調達難に関して、当工業会会員企業各社への何分のご配慮を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調達難の現状

・対象船用機器

- 航海計器、通信機器、計測器、遠隔操縦装置、配電盤・分電盤、エンジン、ポンプ、発電機・電動機、冷凍・空調機、ボイラー、油水分離機、甲板機械、消防機器等広範な製品

- ・対象部品等
 - CPU、半導体、プリント基盤、コネクタ、ハーネス、ケーブル、マグネット、スイッチ、プレーカー、PC、リレー、シーケンサー、インバーター、タッチパネル、電源装置、樹脂製品等の電子・電気関係の材料・部品
 - 鋼材、銅、アルミ等の金属材料・部品
- ・部品等の入荷時期
 - 通常1～2月程度で入荷していたが、現状、半年から2年程度に延長又は納期未定の状況
 - 半導体生産ラインの見直し等で、製造中止部品等が発生
- ・上記の調達難は当面改善の見込み無く、今後数年は継続する見込み。部品等の価格については、言い値での受け入れを余儀なくされる状況。海外調達部品等については、更に円安の影響が付加
- ・自動車等他産業等との部品調達面での競合において、規模的に船舶関係は不利な状況。世界的な造船受注量の急回復も調達難の背景要因
- ・現状では、造船所のご理解の下で調整を図り、船舶の引き渡し時期への影響は回避しつつも綱渡り状態が続いており、さらに深刻化している状況。一部には、造船所からの新規引き合いに対して製品納期の確約ができず、失注に至る事例も発生
- ・就航船の機器換装工事等については次期入渠時等に延期を依頼し、修理工事等へ部品を優先手配

2. 船用事業者で実施中の主な対応策と課題等

- ・通常取引先ではない取引先、インターネット、電気街等からの調達（価格が数倍から数十倍に上昇、品質面のばらつき）
- ・代替品への転換（状況により、新たな開発、設計変更、性能評価、船級認証等が必要）
- ・部品等の先行発注、長期在庫の確保（新たな先行調達資金、保管場所の確保等が必要）
- ・造船所等客先との納期調整、パッケージ受注品の分割納品の設定（客先のご理解が不可欠）
- ・納品後の部品取り付け（客先等の理解の下、社内部品で検査運転等を実施し、一旦部品を外して出荷後、公試等までに部品を確保・取り付け）

3. 造船業界へのお願い事項

- ・上記事情を踏まえ、製品検査・納期等に係る船用メーカーとの調整、弾力的な運用の確保
- ・部品等の調達難と関連経費を含む価格上昇等を踏まえたご配慮とコスト低減策協議へのご協力
- ・造船契約時における本件事情の反映と竣工時期へのご配慮

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。